

## 令和3年度 学校評価 生徒アンケート集計結果

[4 : よくあてはまる    3 : ややあてはまる    2 : あまりあてはまらない    1 : まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R3	R2	R1
1 教育活動全般について	1	学校は教育方針や育てたい生徒像をはっきり示してくれる。	3.4	3.3	3.2
	2	学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている。	3.6	3.5	3.4
	3	学校は進路に関して情報を提供してくれている。	3.6	3.6	3.5
	4	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.4	3.3	3.1
	5	担任の先生は、保護者との連絡を密にしている。	3.0	3.2	3.1
	6	生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い。	3.4	3.4	3.2
2 学習活動について	7	1日の平均家庭学習時間 (2時間以上・・4, 2時間~1時間・・3, 1時間~30分・・2, 30分~0分・・1)	2.1	2.2	2.1
	8	先生は、テスト以外の面も評価してくれている。	3.5	3.4	3.3
	9	授業は集中できている。	3.2	3.3	3.2
	10	授業でわからないことについては、先生に質問しやすい。	2.8	3.0	3.0
	11	始業時には、きちんと席に着き、教科書等の準備をしている。	3.6	3.4	3.4
	12	課題・提出物は期限までに提出している。	3.2	3.4	3.2
3 教育環境について	13	学校は校舎内外の環境整備に努めている。	3.3	3.3	3.3
	14	学校の施設・設備は安全面で問題はない。	3.3	3.3	3.2
	15	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.2	3.2	3.1
	16	ゴミを散らかさないようにしている。	3.7	3.6	3.5
4 生徒活動について	17	生徒会活動に関心を持ち積極的に参加している。	2.8	3.0	2.9
	18	社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.5	3.5	3.4
	19	自分からすすんであいさつをしている。	3.4	3.4	3.3
	20	部活動に積極的に取り組んでいる。	3.4	3.4	3.3
5 その他	21	彦岐商生として、誇りをもっている。	3.3	3.2	3.3
	22	家庭ではあいさつや礼儀、生活態度などについて注意をしてくれる。	3.3	3.4	3.2
	23	朝の10分間読書に熱心に取り組んでいる。	3.5	3.5	3.4
	24	学校行事は楽しみである。	3.4	3.4	3.2
	25	周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.5	3.5	3.3

# 令和3年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R3	R2	R1
1 教育活動全般について	1	本年度の努力目標は分かりやすい目標になっている。	3.3	3.3	3.3
	2	学校の生徒指導に対する姿勢に共感できる。	3.2	3.2	3.2
	3	学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	3.1	3.0	3.1
	4	学校は子どもが部活動に意欲を持って参加できる環境が整っている。	3.2	3.3	3.1
2 学習活動について	5	子どもは学校行事を楽しみにしている。	3.3	3.3	3.2
	6	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	3.3	3.3	3.4
	7	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	3.0	2.9	2.9
	8	子どもは家庭学習を行っている。	2.8	2.8	2.8
	9	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	3.2	3.2	3.2
	10	学習の内容や進捗等を、懇談や学校からの通信によって知ることができる。	3.1	3.0	3.1
3 教育環境について	11	学校は事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	3.2	3.1	3.2
	12	学校は清掃が行き届き、いつもきれいだ。	3.3	3.3	3.4
4 開かれた学校づくりについて	13	学校は保護者や地域の人たちと話す機会を多く設けている。	2.9	2.8	3.0
	14	学校は子どもの様子を保護者や地域に情報提供してくれる。	3.0	2.9	3.0
	15	学校は地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.1	3.1	3.1
	16	先生はPTA主催の行事に進んで参加している。	3.3	3.2	3.3
5 その他	17	子どもは社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.3	3.3	3.2
	18	子どもは積極的に部活動に参加している。	3.4	3.4	3.3
	19	家庭ではしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。	3.2	3.3	3.1
	20	担任に子どもの教育について気軽に相談できる。	3.2	3.1	3.2
	21	子どもは周囲や相手のことを思いやって生活できている	3.3	3.3	3.3

令和3年度 学校評価表(自己評価)

校 訓	(1) 知性 【高い理想を掲げるとともに、学んだ知識・技能を活用して、自ら課題を発見・探求し、成果等を表現できる能力を育もう】 (2) 信義 【礼儀を正し、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決しようとする態度を身につけよう】 (3) 勇氣 【体位を向上させ、様々な変化に積極的に向き合い、新しいことに挑戦する勇氣を養おう】	総合評価				
	教育方針	高い志に向かって努力し、心身ともに健康で人間性豊かな人材の育成を目指すとともに、地域に信頼される特色ある学校づくりに努める。	3.0 (3.1)			
教育目標	本気で学んで 本気で鍛えて 夢実現！	育てたい生徒像				
教育目標	1 健康な心身を養い、規律を守り協力・共同することができる生徒を育てる。 2 自己肯定感を持ち、他者を思いやることのできる生徒を育てる。 3 目標を立て、主体的な取組を継続できる生徒を育てる。 4 創造力に富み、状況や場に応じた判断ができる生徒を育てる。 5 明るくあいさつができ、奉仕の精神を持ち、社会に貢献できる生徒を育てる。	1 自分を大切にし、他人を思いやることのできる宍岐商生 2 志を立て、粘り強くチャレンジする宍岐商生 3 自ら考え、行動し、判断できる宍岐商生 4 明るくあいさつができ、社会に貢献できる宍岐商生				
	本年度の努力目標	生徒の努力目標				
生徒理解に努め、教育活動全般において生徒の「宍岐商スキル8」を磨く。 【宍岐商スキル8】 1 自己肯定力 2 自己分析力 3 主体的実行力 4 計画力 5 継続力 6 発信力 7 創造力 8 社会適応力		【宍岐商チャレンジ10】 (1) 明るく、元氣な挨拶をかわして元氣な学校にしよう。(目を見て笑顔でワンストップ挨拶をしよう) (2) 部活動に励み、心身を鍛え、やり抜く力を身につけよう。 (3) マナーを大切にし、校内美化に努めよう。 (4) 自分を大切にし、他人を思いやろう。 (5) 進んで学校行事や奉仕活動に取り組もう。 (6) 積極的に読書をし、創造力や表現力を身につけよう。 (7) 毎時間の授業を真剣に臨み、家庭学習の習慣化に努めよう。 (8) 目標を立て、粘り強く努力しよう。 (9) 意欲的に資格取得を目指し、将来の自分に投資しよう。 (10) 無言整列、無言消掃を徹底して美しい集団にしよう。				
評価は右記の4～1の番号を記入してください。 4：十分達成できている 3：おおむね達成できている 2：どちらかというところ達成できていない 1：ほとんど達成できていない						
分業学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	昨年度	本年度	総合	成果と課題
教務部	(1)授業時数の確保と円滑な行事運営を行う。 (2)授業研究の機会を設け、指導力向上のための研修を促進する。 (3)ユニバーサルデザインの充実・教室の整備に努め、落ち着いた教育環境を作り上げる。 (4)保護者、同窓会、地域等との連携を図り、PTA活動の活性化や情報発信などにより開かれた学校づくりを推進する。 (5)誰もが読書を楽しめる図書館運営を心掛ける。 (6)図書委員会の活動を活発化し、仕事への責任感を持たせる。 (7)広報誌を発行し、新刊書や推薦本の広報などに努める。 (8)朝の読書が生徒にとって有意義で快適な時間となるよう支援する。	職員会議資料は、会議の2日前までに整理し、まとめて起案および冊子化することを目指す。また、会議前日までに職員配布することを目指す。	3.7	2.9	2.9	各種業務について、各々の先生方が責任を持って業務にあたってくださり、遺漏なく年間の業務のほとんどを終えられた。振り返り総括すると、業務分担に反省点が挙げられる。 細かい打ち合わせがないまま各担当の先生方の経験・知識によって業務を消化していった現実があり、マンパワーに頼った運営であった。おのずと特定の先生に業務が偏り、多大な負担をかけた。 改善できる方法としては、部会の開催が第一に挙げられる。進捗状況の確認にとどまらず、業務の割り振り、係担当の細分化にまで議題を掘り下げることでまだまだ改善できる点がある。 もう一点の反省点は業務のマニュアル化である。業務について「何をどこまでやるのか」という観点が個々によって解釈が異なり、結果的に教務の偏りへと繋がった。改善点として「係担当の細分化」を前述したが、一方で係担当の業務の明確化も必要である。 次年度は、部内が円滑に業務を進められて、学校運営に貢献できるよう、今年度の改善点を反映し業務にあたっていく。
		PTA行事(総会、地区PTA、研修会)の出席率が過半数を超えるように促す。	3.2	3.1		
		教務部内で業務連絡・分担確認を定期的に行い、連携して行事の円滑な運営を図る。	3.6	2.6		
		各行事の実施後10日以内には反省を行い検証し、次年度につなげる。	3.4	3.2		
		保健相談部との連携を図り、ユニバーサルデザインの充実を図る。	3.1	3.0		
		課題・提出物は期限までに提出している。(今年度目標90%)	2.8	2.7		
		一日あたりの来館者10人以上をめざす。	2.7	2.2		
		図書委員にカウンター作業を徹底させる。	3.4	3.3		
生徒指導部	(1)全職員が共通理解のもと、あらゆる機会での容儀・マナーの指導を行う。 (2)校内・校外巡視、登下校指導を行い、問題行動発生の予防に努める。 (3)保護者・地域関係機関と連携し、生徒の健全な成長を目指す。	貸出本の未返却者を0にする。	2.9	2.1	3.3	本年度は、10月と11月の容儀指導を実施していない。本校では、月1度の検査は必要である。次年度は、月1度の容儀検査を確実に実施したい。 今年度は、1年生が落ち着かない状況であったが、学年団の早い対応で徐々にではあるが落ち着いてきた。 昨年度実施していた登校指導を今年度は実施していない。次年度は、時間を確保して実施したい。 全体的に、評価が上がってはいるが、改善点も多くあった。
		「図書館だより」を年3回発行する。	3.7	3.6		
		容儀指導を月1回実施し、事後指導を徹底する。	3.6	3.3		
		学年・分業との連携を深め、問題行動の予防に努める。	3.4	3.5		
		交通ルールやマナー指導、自転車点検などを行い、交通事故「ゼロ」を目指す。	3.6	3.0		
		「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。	2.6	3.8		
		「生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い」の項目で85%以上を目指す。	3.4	3.5		
		「社会のルール、学校のルールをよく守っている」の項目で95%以上を目指す。	3.4	3.5		
「自分ですすんで挨拶をしている」の項目で95%以上を目指す。	2.8	3.0				
「宍岐商生として誇りを持っている」の項目で生徒アンケート90%以上を目指す。	2.6	3.0				

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
進路指導部	<p>3年間の見通した進路指導の方策を練るとともに、職業観・勤労観を育てる。またキャリアパスポートについて運用を円滑に進める。</p> <p>②進路ガイダンスなど進路関係の諸行事への保護者の参加を増やすとともにHPやメールメイトによる情報発信を行う。</p> <p>③企業訪問を強化し、追跡調査や新規開拓する。</p> <p>④進路閲覧室の環境整備を進め、生徒の利用を増やす。</p>	3年生の進路決定率100%。	4.0	3.0	3.2	<p>3年生の進路実現100%は卒業式までに達成することができず、3月以降の受験が2名いる状況である。うち1人は学校を通じての就職試験となるため、卒業後であっても最後まで指導したい。また、今年度も支援が必要な生徒の受験に際して、相談部及び担任と連携を取り、「個別の教育支援計画」の提示を行い、採用につなげることができた。採用後はハローワーク・長崎労働局を通じて、「特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース)」の申請書類を作成・提出した。この制度は入社後の企業及び生徒の双方に利点があるため、申請に該当する生徒が応募する際は、今後も活用していきたい。</p> <p>学校評価アンケートについては、生徒・保護者ともに「よくあてはまる」の割合は目標を下回ったが、「ややあてはまる」まで含めると90%以上が高評価をしてくれている。コロナ禍で思うような行事ができないなかで、この評価であればまずまずではないかと感じている。</p> <p>今後も波はあれど新型コロナウイルスの影響はしばらく続くので、コロナと共存した進路行事の運営を模索していきたい。</p>
		学校評価生徒アンケート「学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている」「学校は進路に関して情報を提供してくれている」の両項目で、「よくあてはまる」が全学年で55%以上。	3.4	3.4		
		学校評価保護者アンケート「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の項目で「よくあてはまる」が45%以上。	2.8	3.2		
保健相談部	<p>&lt;環境&gt;</p> <p>①能率的で快適な学習や生活ができるよう、常に整理整頓の心掛ける態度・習慣を育成する。</p> <p>②美しい環境の中で活動することに快適さや集中力の向上によって生徒の主体的な行動を引き出すために、美化意識を高める。</p> <p>③地域清掃(観光地クリーン作戦)を通して、島内の様々な場所や公共物とのかかわりや地域への愛着を深め、環境美化に努めるとともに、ゴミの分別や資源再生利用の意識を高める。</p> <p>&lt;保健&gt;</p> <p>①保健管理及び保健教育の充実を図り、心身共にたくましい生徒を育成する。</p> <p>②各種健診により疾病・疾患の早期発見に努め、生徒職員の身体・心の健康の保持増進に努める。</p> <p>&lt;教育相談&gt;</p> <p>①悩みや不安を抱える生徒の把握に努め、適切な時期に相談を実施する。</p> <p>②学級担任、養護教諭亦是進路指導部との連携を密にし、効果的な生徒へのカウンセリングに努める。</p> <p>③「学校いじめ防止基本方針」を元にいじめ問題根絶のため、多面的な情報収集と面談を実施し、予防、早期発見、早期解決に努める。</p> <p>④人権・同和教育の充実を努める。</p> <p>⑤各種奨学金を必要とする生徒に対し、円滑な手続きを行い、学校生活の支援をする。</p> <p>⑥全職員の共通理解のもと、学年・分掌の枠を超えて生徒への対応を行う体制づくりに努める。</p>	美化週間を設定し、日頃できていないところまで丁寧に無言で清掃する。	2.7	2.7	3.2	<p>②大掃除前日に更衣があることや掃除の重点項目を生徒に提示するなど事前に意識させることが必要だった。</p> <p>④評価は上昇した。さらに美化への意識を高めるため生徒(環境整備委員など)を巻き込んだ活動を行っていく。</p> <p>⑥コロナ禍の影響で受診が進まなかったと思われる。</p> <p>⑧コロナ禍の影響で部活動停止や学級閉鎖、分散登校が重なり、運動量が低下し、体重コントロールの指導も十分にできなかった。</p> <p>⑨時期に対応した呼びかけ(担任・保健だより)を行った。</p> <p>⑩今年度は7回実施した。生徒の様態はそれぞれ複雑で、委員会をもう少し早期に実施し、対応を考えていく必要があった。</p> <p>⑪昨年度より生徒の評価は上昇したが、生活実態調査等でのいじめの相談はなくなっていない。いじめの情報を得た場合、生徒指導と連携し、早急に対応していく必要がある。</p>
		大掃除は体操服に更衣し、隅々まで丁寧に。また、重点課題を設定し、校内のいっそうに美化に努める。	3.2	3.0		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつも綺麗である」の項目において4・3の合計が95%以上を目指す。【今年度：保護者94.9%、生徒84.1%】	2.2	2.7		
		学校評価「ゴミを散らかさないようにしている」の項目において、95%以上を目指す。【今年度：99.1%】	3.3	3.3		
		新型コロナウイルスをはじめとした感染症罹患による出席停止措置となる生徒数が全体の1割(25名)以下になるように努める。(教育委員会指示による休校及び濃厚接触者としての出席停止は含めない)【今年度：1名】	3.3	4.0		
		歯科受診率(昨年度16.7%)眼科受診率(昨年度23.3%)を昨年度よりも上げる。【今年度：歯科19.4% 眼科：23.3%】	2.0	2.5		
		関係職員と連携し、要観察生徒の情報交換を密にし、全教職員で共通理解をする。記録を引継ぎシートに残す。	3.3	3.3		
		肥満生徒の年間の体重増加を3kg以下にする。	2.5	2.5		
		保健指導を計画的に行い、学校行事での事故を無くす。	3.2	3.2		
		年1回4月に心理検査等を実施し、生徒一人ひとりが抱えている内面的問題を把握し、学級担任のより一層の生徒理解を図る。	3.5	3.5		
		養護教諭と連携して、日々の学校全体の欠席状況や保健室利用状況を把握し、毎週1回分掌会で「気になる生徒」の情報交換を行い学年・分掌間の連携と協力体制を作る。	3.5	3.5		
		教育相談委員会を学期に1回、年最低3回実施し、生徒状況の把握や保護者への対応の在り方、学年間での共通理解を図る。	3.7	3.7		
		事例研究や精神科医や教育相談員の講話等の職員研修を年1回は実施する。	3.6	3.7		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。【今年度：92.0%】	2.7	3.0		
学校評価「生徒の悩みや相談について親身となって応じてくれる先生が多い」の項目で90%以上を目指す。【今年度93.0%】	2.7	3.3				

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
生徒会指導部	(1)生徒の主体性や積極性の向上 (2)各行事への積極的参加と協力する態度の育成 (3)生徒会役員会の活性化 (4)部活動の活性化による活力ある学校づくり (5)ボランティア活動の実践 (6)平和教育・人権教育の実践	各行事において主体的に取り組みせ、連帯感や達成感を高めて目標達成への自信につなげる。	3.4	3.4	3.0	(1) 生徒会役員が歓迎遠足や文化祭、学年レクなど各行事に主体的に取り組むことはできたと思うが、全校生徒に主体性を波及することは難しかった。 (2) 生徒会役員間のコミュニケーションは円滑にとれており、仲間に配慮しながら自由に意見を主張できる関係が構築できていた。 (3) 生徒会役員のリーダーシップを高め、学校の代表として行事の企画運営にあたらせるなどのリーダー研修をさらに充実させたい。 (4) 生徒会の中心的活動である「ワンストップあいさつ運動」を強力に推進する力が弱かった。具体的なキャンペーン手法の再検討とともに、気持ちの良いあいさつが老校高生の当たり前となるようさらなる改善が必要である。 (5) 平和教育では、「被爆者の生の声を聴かせたい」という考えのもと、平和祈念館に講師派遣を依頼し、よりリアリティをもって平和について考察を深め、現在の生活に感謝する気持ちを育ませた。 (6) 部活動の中途退部の生徒に対するフォローや、連帯感を意識させチームワークを高める部長会の開催などを次年度実施したい。
		部活動加入を積極的に推進し、生徒同士が切磋琢磨することで体得できる集中力や忍耐力、責任感などを身に付けさせる。	2.8	3.0		
		まずは生徒会役員が率先して楽しむことができるようなアイデアを積極的に出し合い、「挑戦」の視点で企画立案を行う。	2.8	2.8		
		「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」の項目で80%以上を目指す。	2.6	2.4		
		「自分から進んで挨拶をしている」の項目で90%以上を目指す。	3.8	3.6		
		「老校高生として誇りを持っている」の項目で90%以上を目指す。	3.0	3.0		
第1学年	○生活指導に関する目標 ○学習指導に関する目標 ○その他	年間出席率99.0%以上を目指す。(欠席は年間3日以内、遅刻をしない)	2.6	2.1	2.6	・全体的に支援を必要とする生徒も多く、全体での指導が通りにくい。 ・頑張っている生徒を認めながら学年と成長してできるよう支援が必要である。 ・上位層やまじめな生徒への支援ができなかった。
		提出期限を守ることを徹底させる。	2.9	2.2		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で85%以上を目指す。	3.5	3.1		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で80%以上を目指す。	3.7	2.5		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいだである」の項目で90%以上を目指す。	2.7	2.5		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で90%以上を目指す。	3.2	3.1		
第2学年	○学習指導に関する目標 ○適正・能力にあった進路意識の育成 ○生徒指導に関する目標 ○その他	年間出席率99.0%以上を目指す。	2.3	2.6	2.9	・コロナ禍の登校となったが、欠席する生徒も少なく、学年の出席率は99%を超えた。 ・授業に集中し、積極的に学ぼうという意欲を感じた。今後も継続してほしい。 ・行事では、リーダーシップを発揮する生徒がいてよかったが、まだそのような生徒が少なく感じる。リーダーシップを発揮できる生徒を育てていきたい。 ・進路目標を各生徒が明確にする必要があり、進路指導室利用者を増やしたい。 ・卒業後を意識させた行動、考えを根付かせる必要がある。
		課題の提出期限を守ることを徹底させる。	2.6	2.7		
		社会人としての礼法・マナー及びコミュニケーション能力を定着させる。	2.4	2.7		
		学校評価の全ての項目の平均で、4・3の合計評価が、80%以上を目指す。	2.6	2.7		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	3.0	3.4		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で4・3の合計評価が80%以上を目指す。	2.6	3.2		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいだである」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	2.7	2.4		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で4・3の合計評価が90%以上を目指す。	3.1	3.4		
学校評価「老校高生として誇りを持っている」の項目で4・3の合計評価が85%以上を目指す。	2.8	3.1				

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第3学年	○学習指導に関する目標	年間出席率99.0%以上を目指す。また全員卒業を達成する。	2.9	2.7	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路決定についてはほぼ100%であったのは、担任の先生や進路指導部の先生のがんばりだったと思う。</li> <li>・いじめや暴力のない学校づくりについての評価が高かったのは嬉しかった。</li> <li>・清掃については生徒は真面目に取り組んでいる。小・中学校でのご指導の賜物ではないかとも思われる。</li> <li>・学習習慣の定着が課題である。</li> </ul>
		問題行動「ゼロ」を目指す。	2.3	3.0		
	○進路指導に関する目標	進路決定100%を目指す。	4.0	3.2		
		学校評価の全ての項目の平均で4・3の合計評価が、80%以上を目指す。	2.9	3.1		
	○生徒指導に関する目標	学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で85%以上を目指す。	3.0	3.4		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で90%以上を目指す。	2.8	2.8		
	○その他	学校評価「自分から進んで挨拶をする」の項目で90%以上を目指す。	3.5	3.3		
		「宍校生として誇りを持っている」90%以上を目指す。	3.1	2.8		
商業科	○家庭学習を習慣化し、「予習-授業-復習」のサイクルを確立することで、就職試験で戦える学力および進路先で通用する学力を身に付けさせる。	教育課程の見直し。(生徒の実態に即した課程の検討)	2.8	2.9	2.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検定の入門級を全員取得させるため、生徒の実態に応じた指導をしていく必要がある。また、1級3種目以上の取得者数およびビジネスマスター長崎の受賞者が今年度減少したが、コロナ禍で授業時数の減少や補習の短縮・未受験等の影響が考えられる。</li> <li>・来年度は教員間の連携を密にし、タブレットのさらなる活用で生徒の学習意欲を高める努力を行い、個々の能力向上を目指していきたい。</li> </ul>
		簿記検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	2.8	3.1		
	○言語活動の充実を目指した授業を推進し、コミュニケーション能力の向上を図り、主体的な人材の育成を目指す。	情報処理検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.2	3.1		
		全商3種以上 10名(昨年度は12名)	2.2	2.3		
	○学科の独自性と専門性を活かし、地域社会に貢献できる事業(活動)の検討と実践に向けての取り組みを行う。	ビジネスマスター長崎 23名(昨年度23名)	2.2	2.5		
		学校評価「毎日必ず家庭学習を行っている。1時間以上」の項目で4・3合計50%を目指す。(昨年度37.2%)	2.2	1.9		